会社案内
Corporate Profile

バイオガス事業の成功に向けて

バイオガスコンサルタント
株式会社バイオガスラボ

BIOGASLABO

ごあいさつ

代表取締役
三崎 岳郎

脱炭素社会に貢献する
バイオガス事業を成功させたい、
それが我が社の願いです。

バイオマス由来のエネルギーは、再生可能エネルギーの中でも、
太陽光発電や風力発電と異なり、天候に左右されない安定的なエネルギーです。
中でも、バイオガス事業は、単なるエネルギー事業ではなく、環境保全の面も併せ持った事業です。
また、バイオガスは単に発電利用できるだけではなく、熱エネルギーとしても十分な用途があります。
このように、バイオガス事業は環境にも優しい事業です。

㈱**バイオガスラボ**は以下を特徴とした全く新しい形態のコンサルタント会社です。

- ▶バイオガス事業専門
- ▶自らラボテストを実施
- ▶中立な立場でのコンサルティング

ラボテストの重要性

的確なラボテストの実施が、バイオガス事業成功のカギを握ります。

多種多様なバイオマスの処理

↓

性状が大きく異なれば
発生ポテンシャルも異なる

施設の安定運転

↓

アンモニア阻害と
運転負荷などの検討

消化液の有効な利用

↓

適切な利用方法を検討

↓

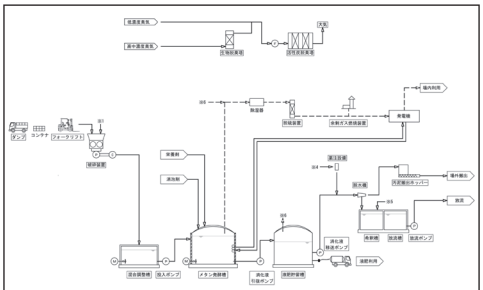
**事前の短期・長期ラボテストにより、
事業の課題を把握し、健全な事業性を検討**

コンサルティング業務

1．バイオガス施設の基本的な計画、アドバイス業務

地域環境・原料性状に合わせたバイオガス施設を総合的に検討します。

①検討条件の決定……原料の選定・規模の選定
②施設規模の検討……
　バイオガス発生量・利用可能エネルギー規模
③最適技術の提案……
　設置条件に合わせた最適なメタン発酵技術の提案
④消化液利用の検討……
　消化液利用（液肥）及び水処理技術の検討



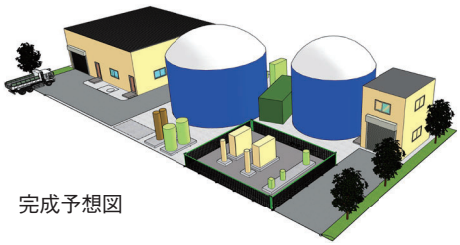
フローシート例

2．基本設計

基本設計書、機器仕様書、基本図（フロー・配置図等）を作成します。

3．事業性の検討

基本設計に基づいた施設の事業性を総合的に検討します。

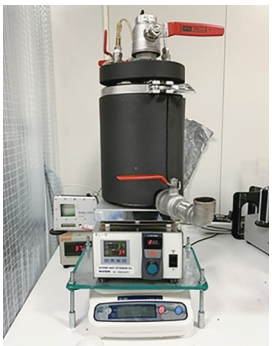


完成予想図

中　央　研　究　所

ラボテストは最新の実験設備を備えた中央研究所で行い、確かな結果をご提供します。

試験室


４Ｌ小型試験装置

15Ｌ大型試験装置

馴養タンク

脱水試験装置

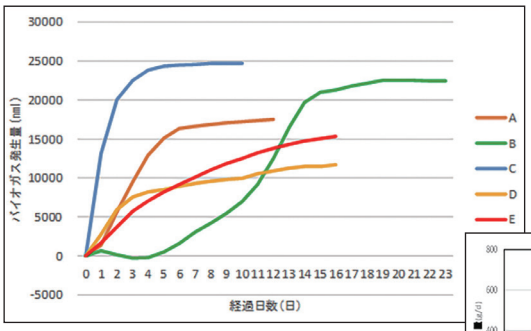
乾燥機・マッフル炉

FOS/TAC計　分光光度計

ガスクロマトグラフィー

ラボテスト（短期・長期）の内容

	短期ラボテスト	長期ラボテスト
目的	バイオマスが持つバイオガス発生量のポテンシャルを確認	実施設を想定した安定的な運転条件を事前に把握
試験方法	バッチ試験	連続試験
テスト期間	2～4週間	4～6か月
発酵タンク	4 L	15 L
汚泥濃度	3 %	3 %（成り行き）
発酵温度	37 ℃ ± 0.5 ℃	37 ℃ ± 0.5 ℃
成果品	・バイオガス発生量 ・分解率等基礎情報 ・成分分析 ・メタン濃度	・バイオガス発生量 ・発酵の安定性 ・発酵負荷 ・消化液の性状



短期ラボテスト結果の一例

長期ラボテスト結果の一例

テスト対象バイオマスの例

バイオマス	具体的な例
家畜ふん尿	乳牛スラリー
	豚ふん尿
	鶏ふん
	肉牛ふん
食品残渣	スーパー等残渣
	廃菌床
	コーヒー粕
	食用油
	野菜類
	その他（多種）
汚泥	下水汚泥
	排水汚泥
草木類	刈草類
	エネルギー作物類

会社概要

会社名 株式会社 バイオガスラボ　Biogaslab CO.,Ltd.
事業所 東 京 本 社：〒100-0014　東京都千代田区永田町2-17-17　アイオス永田町518
電話：03-3597-0759　FAX：03-6206-6771
中央研究所：〒923-1211　石川県能美市旭台2-5-10
電話・FAX：0761-58-2019
代表者 代表取締役　三崎 岳郎
設　立 2015年10月
資本金 3,500,000 円
ＵＲＬ http://www.biogaslab.biz/

業務内容

＊ラボテスト
＊バイオガス事業化のコンサルティング
＊既存バイオガス施設の診断サポート
＊新技術の共同研究

▲株式会社バイオガスラボ 本社

株式会社バイオガスラボ 中央研究所▶

＊表紙写真（丸抜き・上段）：青森県十和田市　バイオガスエネルギーとわだ（㈱県南環境保全センター）

2024.4